

消え行く森、 生まれ変わる森

— 森の近代を問う —

2012年1月29日(日) 10:30～17:00

会場 | エルおおさか 701号室

報告者 | 報告題目

ヨアヒム・ラートカウ Joachim Radkau (ドイツ・ビーレフェルト大学名誉教授)
‘Origins of sustainable forestry in Germany and Japan: A comparative and revisionist approach’

安富歩 (東京大学)・永井リサ (大阪大学) [共同報告]
「満洲の森は消えた — 社会生態史の試み」

山田勇 (京都大学名誉教授)
‘Wise use of poor resources and mismanagement of rich resources:
Comparative eco-resource utilization history in the tropics and the mountains’

塚田孝 (大阪市立大学)
「和泉地域の開発と村落の変容」

コメンテーター: 水野祥子 (九州産業大学)
(英語報告に関しては、通訳はありませんが邦訳ないし邦語要旨をお渡しします。)

主催: 大阪市立大学大学院文学研究科
558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

Tel: 06-6675-7905 E-mail: ooguro@lit.osaka-cu.ac.jp (担当: 大黒)



[京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m]